◇農水産物直売所と農業法人西原ファームの進捗状況について

宮城秀功　議員

問 農産物直売所及び農業生産法人西原ファームの進捗状況について。三月の時点では検討中であると聞いていますが現況について全体的に説明を伺いたい。

建設部長 農水産物流通加工・観光拠点建設整備事業直売所については、建設する為の調査及び審議する検討委員会を立ち上げ、今年中で基本計画を策定しその中で用地選定も含めて商圏調査の結果も参考にしながら策定していきたい。

産業課長 現在西原ファームは3万坪の遊休地解消をし、農作業をしており25年度は一応6万坪を解消する予定にしています。又品目としてオクラ・ゴーヤー・カラシナ等を栽培し25年度はトマト・島人参・ヘチマ・パパイヤ等を予定して、直営で3万坪、残りの6万坪は新規就農者や定年退職した人に受委託してもらう予定です。

問 ゴミの不正投棄について。棚原・徳佐田・森川地区では不法投棄がみられる。又桃原120の1の後始末はどう指導していますか。

総務部長 町内全体特に市町村境界の地域に見られるが町道や農道・里道等は随時回収や撤去、不正投棄防止の看板設置、又不法投棄物については土地の管理者の責任で処分する事になることを指導している状況で、桃原120-1も同じ指導をしています。

問 一括交付金について。配分額は増えて各自治体が使用し易い状況と聞いているが、町は今年度分の使用事業に各地域自治会と話合いをやっていますか。又各地域自治会の文化財史跡はどう考えていますか。

教育部長 文化財の選定は解説板や標柱がないもの、劣化により字が見えない物や地域からの要望等を自治会長や地権者と調整を行なって進めていきたい。又地域の伝統芸能に使えるかは他の市町村の状況を調べて検討したいと思う。

問 小波津川の整備について。先月、豪雨で川が氾濫して国道まで浸水し、町民に迷惑をかけている。今迄でも川の整備はやっているが効果は出ていない感があるがどう考えていますか。

土木部長 今回の豪雨、やはり一時間当り50mmを超えているのですが、今後もこの整備の効果が発揮できるのは工事完成後で、それまでは、今回のような事態が想定されると県の方も言っています。

整備中の小波津川

◇待機児童の解消策 ◇特別養護老人ホームの拡充 ◇安全の確保

上里善清　議員

問 子育てに対する町民の要望に応えるため、中心的役割を担うのは保育所だが、施策を総合的に調整するのは地方自治体です。西原町の将来展望として待機児童0を目指していただきたいと思います。新規認可保育園の設置計画があるかお伺いします。

福祉部長 昨年度に、さくらんぼ保育園の定員増による建て替え・西原保育所廃止に伴う西原保育園の新規創設により定員増を図ってきました。今年度はさわふじ保育園の定員増による建て替えを予定しております。

問 要介護度4や5に認定された人が老人ホームに入所できずに居宅介護を余儀なくされている現状があります。中には、老人が老人をみる老老介護もあり大変深刻な問題であります。そこで、ア．西原町の介護度4や5に認定された居宅介護の現状はどうなっていますか。イ．新規特別養護老人ホームの設置計画はあるのかお伺いします。

介護支援課長 ア．介護度4は178名で施設入所者は75人、在宅介護者は103人です。介護度5については、113名で施設入所者は52人、在宅は61人です。イ．第5次計画を立てるとき、西原町の65歳以上の高齢者全員にニーズ調査をしました。その結果、今一番必要なのは何か調べていきますと、確かに施設介護も必要ではあるが、西原町で使えるサービスを考えた場合、現時点で、優先順位は低いという決定です。

問 マリンタウン地区が開発されて以降、レジャーやイベント等が活発になり、兼久区内を通行する車も増え大変危険な状況となっています。シンボルロードから我謝までのスク道の道路整備をお願い出来ないかと思いますが、計画があるかお伺いします。

建設部長 交通安全上危険であるため、町としても、当該路線は都市マスタープランにおいて補助幹線道路として位置付けられており地域の道路ネットワークとしても重要な路線ですので、整備の必要性、優先順位は高い路線であると認識しています。現在、事業中の路線の進捗状況や他の整備必要路線との優先順位、補助事業のメニュー等を総合的に勘案し早い時期に整備計画が立てられるように努力していきたい。

待機児童解消のため町補助金を受け新増改築されたさくらんぼ保育園

◇農業振興 ◇風疹予防接種助成 ◇旧町立西原保育所解体

大城　誠一　議員

問 生産法人西原ファームにおいて耕作放棄地（遊休農地）が3万坪再生され、シマナーやニガナ等の農産物の生産に活用されている。又、一般農業者から経営規模を拡大したいのでこの耕作放棄地再生利用緊急対策事業の導入を検討しているとの声があるが、この事業について、一般農業者に対して説明会は行ったのか。

建設部長 一般農業者の皆様に対して説明会は実施していませんが、町の広報紙やホームページへの掲載を検討していきたい。

問 一般農業者が、この事業を導入する場合、町担当部署は、どこまで支援できるか。農地の貸し手の紹介や事業申請に当たっての申請書作成等があるか。

建設部長 現在は農地あっせん体制が整っていない状況で、（農地）貸し手の紹介までには至っていない。申請書の作成に当っては必要があれば支援をしていきたい。

総務部長 農地交渉人を今（協議会に）1名配置しているので一般の農家も話を通してもらえば農地の紹介はできる。

問 西原ファームの構想の中に団塊の世代を対象に、再生地を配分して農業に従事してもらう取組があったと思うがその進捗は。

建設部長 現在、試験的に2名の農業者が農作業受委託に取組んでいる。

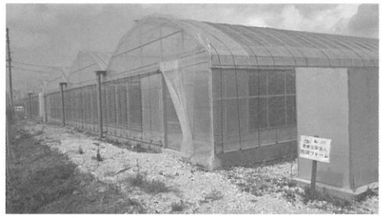
産業課長 今、西原ファームとシルバー人材センターで協議しているが、小規模新規就農者として夫婦で約300坪程度の農地を農作業受委託をしてもらう、200組程度の新規就農者の育成を図る取組である。

問 風疹障害から子どもを守るためにも、風疹予防接種を行う者に一部助成を実施する取組について。

福祉部長 今年4月1日から10月31日に接種を受けた方を対象に、4千円を上限に実施する予定である。

問 町営の西原保育所が閉鎖されその事業が民設民営の小橋川福祉会西原保育園に引き継がれている。該保育園の通園時の出入口は、旧町営保育所の解体後の跡地を利用することになっているが、未だ解体されてなく園児は不便を強いられている。解体時期はいつか。

福祉部長 6月17日以降には解体工事に着手できるものと考えている。工期は7月初旬を予定している。



西原ファーム NO.12

◇自殺予防事業の件 ◇下水道接続補助金 ◇高校進学の実態 ◇陸上競技場の工事

前里光信　議員

問 先日の県内の有力新聞によりますと、「いのちの電話」での相談を求めた人数が増えたと出ており県内の自殺者の数が減ったとありました。西原町の実態は。

福祉部長 日本では年間三万人以上の人がみずから命を絶っており、その状態が長らく続いております。沖縄県の状況は平成23年度は三八二名です。西原町では平成21年度七名、平成22年度四名、平成23年度は八名となっています。自殺予防事業として、一般町民向け、うつ病講演会、自殺予防パンフレット配布、西原高校と協働事業としてゲートキーパーの養成講座の開催を予定しております。

問 公共下水道事業の接続アップの為の町独自の補助制度は現実的に不可能と言うことでしたが、国の補助制度は今どうなっておりますか。

都市整備課長 今年度から国の補助制度を導入する計画で、その要綱については案が出来て最終段階の手続を待っているところです。それから国への申請も交付申請は終えていますので、最終的な決定もそろそろかと思います。七月一日から適用を考えています。一緒に町民への広報をやりたいと思っております。

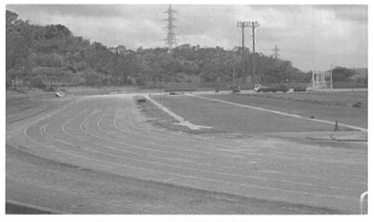
上下水道課長 今回、六月定例議会に補正予算として百二十件分を計上しており、どの程度の申し込みが来るか様子を見ながら今後対応したいと思っています。通常の改造部分は一件につき十万円程度の補助を考えております。

問 平成25年度三月、町内の二中学校を卒業した方々の進路の実態について、町内の高校と町外の高校に分けたとき、進学した者が何名か。

教育部長 平成25年度の卒業生は三九〇名で進学者三七五名です。パーセントにしますと九六パーセントになります。そのうち町内の西原高校への進学者は百六名。（町外の高校への進学者は二六九名。）就職者はゼロ名です。つまり進路未決定者が15名で男子10名、女子5名です。

問 運動公園の陸上競技場の工事は。

都市整備課長 九月中旬の陸上競技大会が終り次第、工事を着工し、来年二月に完了予定です。工事費は残り約二億二千万円です。



一括交付金事業を活用して整備中の陸上競技場